

Lesson 1 Potential Uses of Optical Illusions

<Paragraph 1~3>

目の錯覚

- ・私たちの目がどのように (①) か
- ・私たちの日常生活において利用されている

第1の例

→ 京都の龍安寺の枯山水庭園
歴史的に (②) 設計に取り入れられてきた

||

- ・庭園の地面 → 実際には庭の南東の角に向かって (③)
- ・西側の土塀 → 北側の端でわずかに高くなっている

↓
より奥行があるように見せる

(④) 錯視

=2本の線がまったく同じ長さであるものの、
上部に近い (⑤) 線がそれより下にある線に比べて長く見える

第2の例

→ 非常に高い天井があるように見える家の (⑥)

(⑦) 錯視

この効果を利用することで、部屋を実際よりも (⑧) 見せることができる
=長さがまったく同じであるにもかかわらず、
(⑨) 線が (⑤) 線よりも長く見える

FLEX ENGLISH COMMUNICATION III

<Paragraph 4~6>

第3の例



二次元の表面上に三次元の物体があるように見える

人々がエレベーターを見つけることができなかった

→ 床に描かれた立体的な標示

非常に役立つ



人々を正しい (①)

) に行かせる

最後の例



立体的に見える (②)

) のデザイン

- ・信号のない (③)) で利用できる
- ・交通事故を (④)) ために描かれている
- ・うまくいけば、それらを見たとき、ドライバーは (⑤)) するだろう

錯視の力 = (⑥))

横断歩道は事故を防止する (⑦)) を失うだろう



それでもなお、そのような (⑧)) を覚えておきながら

錯視のさらに幅広い、役に立つ (⑨)) を見つけることは可能なはずだ